

「日本博2.0」の検討・実施体制及び枠組みについて

■ 検討・実施体制

日本博総合推進会議

議長：内閣総理大臣 議長代理：内閣官房長官
 議長補佐：内閣官房副長官（参）
 事業統括：文化庁長官
 その他構成員：関係閣僚等及び学識経験者

日本博の開催準備等に関する関係府省連絡会議

議長：内閣官房副長官（参）
 議長代理：内閣官房副長官補（内政）
 議長補佐：文化庁長官

全体統括 文化庁

国立文化施設

日本芸術文化振興会
 日本博事務局
 企画の立案・実施

国立文化財機構

国立美術館

国立科学博物館

国立アイヌ民族博物館

国立近現代建築資料館

国立劇場

地方自治体、文化施設、芸術団体、公益法人、民間企業等

■ 日本博2.0事業実施の枠組み

委託型

最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業として国の委託費を充当して実施

公募助成型

多様な主体による提案型事業として補助金を交付して実施

- ・最高峰の文化資源の磨き上げによる満足度向上事業（補助型）
- ・文化資源活用推進事業 ※文化庁所管
- ・地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業 ※文化庁所管

参画型

2025年の大阪・関西万博に向けて国外に発信するのにふさわしいプロジェクトや文化施設に日本博のロゴマークを付与し、日本博2.0に参画していただき、上記の日本博事業と連携して一体的なプロモーションを行う
 公募申請により認証。日本博による財政的支援は伴わない

日本博2.0プロモーション

「日本の美と心」のもと日本博2.0の事業を一体的に国内外に発信するため、採択・認証団体に協力いただくことにより、戦略的なプロモーション（広報）を展開